

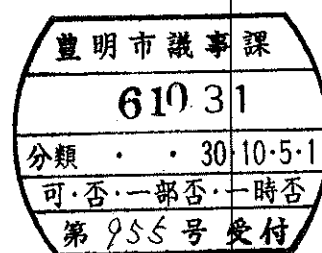
豊明市議会議長 殿

研修会・講演会等参加報告書

議員名 林 ゆきひろ

令和6年度 豊明市議会政務活動費にて下記の研修に参加しましたので報告します。

日 付	研修先	研修項目及び成果等
令和6年10月21日	全国市町村国際文化研修所 (滋賀県)	・地方議会の展望 ・「議会改革度調査」から見る地方議会 ・住民参加、情報公開を進める取組①
令和6年10月22日	全国市町村国際文化研修所 (滋賀県)	・住民参加、情報公開を進める取組② ・各議会における今後の議会改革推進の検討 ※詳細は別紙報告書のとおり



(注) 別紙添付も可能とします。

(注) 本報告書は5年間公開します。

令和6年度 議会改革を考える 研修報告書

林 ゆきひろ

研修テーマ： 議会改革を考える ～先進事例に学ぶ住民参加・情報公開～
研修日時： 令和6年10月21日・22日
研修場所： 全国市町村国際文化研修所（滋賀県）

① 講義・質疑応答

題目： 地方議会の展望
講師： 早稲田大学 名誉教授 北川 正恭 氏
研修日時： 令和6年10月21日13時00分～14時30分
主な内容： 2000年地方分権一括法から議会改革の流れ
地方自治を取り巻く現状
地方議会、議員に求められる役割やあり方

② 講義

題目： 「議会改革度調査」から見る地方議会
講師： 早稲田大学マニフェスト研究所 事務局長 中村 健 氏
研修日時： 令和6年10月21日14時45分～15時30分
主な内容： 全国の地方議会における「議会改革」の取り組み
議会の役割と「開かれた議会」について
具体的な議会変革の手法

③ 事例紹介・演習

題目： 住民参加・情報公開を進める取組①
コーディネーター： 早稲田大学マニフェスト研究所 事務局長 中村 健 氏
事例報告者： 石若健加賀市議会 副議長 上田 朋和 氏
研修日時： 令和6年10月21日15時45分～17時30分
主な内容： 市民との情報交換や意見聴取
学校に出向いておでかけ教室
議会アンケート・議会だよりアンケート
オンライン会議を生かして能登半島地震での活動

④ 事例紹介・演習

題目： 住民参加・情報公開を進める取組②
コーディネーター： 早稲田大学マニフェスト研究所 事務局長 中村 健 氏
事例報告者： 宮城県柴田町議会 議長 高橋 たい子 氏
研修日時： 令和6年10月22日9時00分～10時45分
主な内容： ワールドカフェによる議員間討議
高校生や町民との懇談会
議会基本条例のチェックシート
タブレットを活用した情報共有
ペーパーレスシステムの導入

⑤ 演習・グループワーク

題目： 各議会における今後の議会改革推進の検討
コーディネーター： 早稲田大学マニフェスト研究所 事務局長 中村 健 氏
研修日時： 令和6年10月22日11時00分～15時00分
主な内容： 議会だよりをどのように改善すれば良いか
演習メンバー： 埼玉県蓮田市議会 武藤康史 氏
静岡県島田市議会 天野弘 氏
滋賀県草津市議会 藤本晶 氏
香川県丸亀市議会 内田俊英 氏

◆所感

今回の研修では、最初に「議会改革」の成り立ちを学びました。地方分権一括法が制定されたことで、国からの機関委任事務が廃止され、地方議会としての役割がますます重要となってきました。そういった経緯から、全国各地で「議会改革」が進んできていますが、地域によって「議会改革」の進み方や手法はさまざまです。

地方議会としてのあるべき姿、「開かれた議会」とは何なのか、「開かれた議会」の先にある住民福祉の向上とはどういったことなのか、具体的な地域の課題から民意を反映させて制度化するまでの一連のプロセスを、実際にあった自治体の事例を確認しながら、改めて考えることができました。



また、早稲田大学マニフェスト研究会の議会改革度ランキングについて、どのような意図・目的で、どのような視点によって作成されたものなのかを学び、本市における「議会改革」において、どのように活用していくべきかを考えるきっかけとなりました。

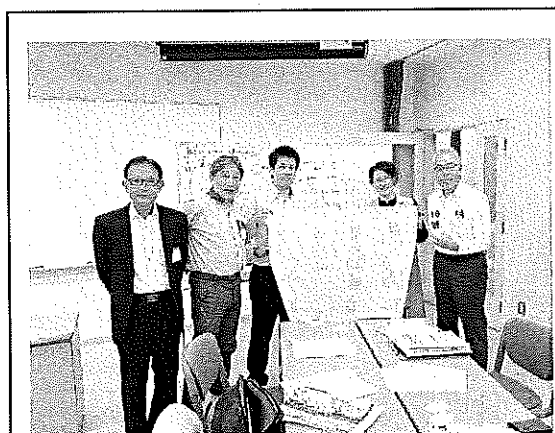
さらに、他の自治体における「議会改革」の先進事例の紹介もあり、高校生との意見交換会、子ども議会、女性議会、小中学校へのおでかけ教室、タブレットを活用したオンライン会議、議会だよりモニターや議会傍聴モニター員制度、議会アンケート、議会基本条例の目的が達成できているかどうか検証するためのチェックシート、決算審議や予算審議において政策サイクルをまわすためのワールドカフェ形式の議員間討議など、民意を反映させるため、議会としての機能向上を図った様々な手法を学ぶことができました。全国各地の「議会改革」の先進的な取り組み事例を学びながら、改めて議会として、議員としての役割を再認識することもできました。

2日目の最後には、全国各地の地方議会で「議会改革」に取り組んでいる地方議員の方々とグループワークを行いました。テーマは、「議会だよりの意義」「議会だよりをどのように改善すれば良いのか」といったことでしたが、このテーマを通じて、どのように「議会改革」に取り組んでいけば良いのか、各自治体の現状を聞きながら具体的な取り組みについて、意見交換することができました。

豊明市の総合計画では、早稲田大学マニフェスト研究所の議会改革ランキング「情報共有」部門で、2025年度の目標値は『225位』ですが、2023年度で513位（総合で407位）と、目標達成まで程遠い状況です。

豊明市議会では「全員協議会（第2部）」を前期から続けていますが、改善されているところもありますが、改悪したものもあると感じています。

今回学んだ先進事例から、本市の「議会改革」をどのように取り組むべきなのか、改めて学ぶことができ、今後の活動に活かしていきたいと考えています。



グループワークの取り組み結果